

# Prime Member

【特別情報サンプル】～関連情報から一部抜粋

20XX年XX月XX日 [No. XXXX号]

※サンプルのため社名等の情報は伏せています。実際の商品には実名が記載されています。

## ■財務不振

### ／青果物卸

地場中堅の青果物卸、の業績動向がテーマになっている様子だ。関係者からは「」との情報が聞かれ、事実なら年商はまで減少している。利益面のマイナスもとみられ、当期純損失はとみられる。財務内容もの債務超過となっているもようだ。また一部ではペイメント状況も取り沙汰されている。同社は各地の青果市場から調達し、地元スーパーなどへ販売。の年商はだったが、に急拡大を遂げただけに大幅減収の背景が気になるところ。

## ■支払い事情

### ／水産物卸・輸出入

支払い事情を案じる声が目立つとして、水産物卸や輸出入ほかのが議論の俎上に載った。ただ関係筋は「」などとして状況は改善途上にあるとの見方を示す。地元筋によると一時期は低調だった事業規模が直近2期で拡大傾向にあるという。損益は明らかになっていない。

## ■支払い期日変更

### ／食肉小売・外食ほか

食肉小売や外食のほか『』のFC運営も手掛けるに言及する向きが増加。このほど議論の俎上に載ったのは支払期日の変更要請で、消息筋によると「」という。ただ別の関係者は「」と話し、懸念する必要はないとの認識を示す。とはいえ「」（業界筋）。労働訴訟を抱える最中の話題だったこともあって関係者の注目を集めたとみられる。

## ■M & A 情報

### ／地場スーパー

地場スーパー、を見守る向き。だった年商が、23年期と後退。23年期はの欠損を計上している。「」（地元筋）。そのような状況のためか地元でM & A 関連の話題が再燃しているという。「」（同）。

※サンプルのため社名等の情報は伏せています。実際の商品には実名が記載されています。

（ ）／中華料理店）

が改めて組上にあがりそうだ。年明けに固まるとみられる 決算においても「」（事情通）。 となったが、 を示していた。グループの事業再構築も避けられそうにない。居酒屋経営、 も同様に。ラーメン店経営、 は直近で最終損失へ転落。両社とも の子会社になって以降、売上高を 落としている。

（ ）／スーパー）

の業績について。 減収の影響で営業損失は、 経常損失、当期純損失 となった。 で財務面は債務超過状態となっている。

（ ）／食肉加工）

工場閉鎖の背景に「」 と偽り、 に納入していた が を閉鎖した件。同工場は、 の商品を主体としていたことに加え、 が離脱したことも背景にあるようだ。 は事件発覚前に が辞任しているが、辞任については社内の“人間関係”とみる向きもあるようだ。

（ ）／食品小売）

前期で債務超過に転落か 小売店運営、 の財務が厳しい局面を迎えた。近隣筋によると、 は相次ぐ店舗閉鎖で減損処理が発生。多額の赤字が計上されたことから債務超過に転落した可能性が大きいという。近年は店舗拡大で話題を集めたが、業界筋は「」 と指摘。戦略を疑問視する声は各地で絶えなかったという。

【掲載情報の種類】

ペイメント（支払い遅延）、サイト延長、債権譲渡登記、M&A、人事、後継者難、キーマン退社、問い合わせ集中、リスケジュール、ノンバンク、不祥事、欠品、バンクミーティング、粉飾、他